



第76号
R1.7.10 発行

■編集・発行
田彦中学区地域づくりの会・広報委員会
TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609
〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128
田彦コミュニティセンター内

背景は、勝田電車区

令和新時代に向けて

会長 内田雅恵

過日の総会に於いて、31年度の事業計画が承認されました。本年度の事業計画では、地域の皆さまの一人ひとりが出会い・ふれあい・地域の輪が広がる創造ある活動を目指しました。

令和元年 本会創立26年目を迎えた新たな気持ちで、役員及び部会員一同取り組んでまいります。報道によると令和の意味は、「人びとが美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」と聞きました。各自自治組織が中心になり、地域の皆さまとの心寄せ合い交流が深まりますようお願いしております。本会も各種事業を通じ支援してまいります。

最近ショッピングな事故や事件が発生しています。特に川崎市登戸で発生した殺傷事件では、多くの子どもたちを含む犠牲者がました。こうした事件を未然に防ぐためにも、昨年度から取り組んでいます「あいさつ運動」を地域で支える生徒指導推進協議会(小中学校等)と連携し推進してまいります。どうかご理解を賜り各地区で積極的な取り組みをいただき、近所さんや子どもたち、生徒さんに笑顔で挨拶をお願いいたします。この運動が広がり定着することが地域力を高め、田彦地区の文化が生まれ育つと信じております。今後とも皆さまのご協力をお願い申し上げます。昨年、センター施設の防水工事のため、ご不便をお掛けいたしましたことをお詫ひ申し上げます。

平成31年度 事業計画

本会事業

地域コミュニティの拠点として、皆さまに親しまれる会運営を推進します

- 役員会 随時開催
- 秋季運動会 10月20日
- コミュニティまつり 11月16・17日
- 地域ふれあい芸能発表会 2月16日
- 広報誌発行 7月、12月、3月

体育部会

スポーツを通じ、地域の方々の交流と体力増進を推進。いい汗流しましょう!

- ファミリーバドミントン 5月26日
- シニアレクリエーション 6月16日
- ヘルスバレーボール 7月7日
- ノルディックウォーキング 12月8日

青少年部会

各種事業を通じ、地域の青少年健全育成活動を推進

- 少年の主張大会 7月10日
- ふれあいキャンプ 8月3・4日
- ふれあいスキー 1月11日
- 読み聞かせ(年9回) 6月~3月
- 青少年育成事業 予定

文化部会

心豊かな生活環境推進のため、芸術や地域の歴史・文化を知る教室の開催

- 文化教室 10月
- 一般募集見学会 11月

安全福祉部会

地区の交通安全啓蒙活動や危険箇所点検・福祉・防火等の啓蒙活動の推進

- 危険箇所点検 6月
- 福祉講習会 7月10日
- 元気はつらつ歩く会 10月26日
- 交通安全大会 2月

環境部会

9月末に開催される茨城国体に向けて、花いっぱい運動と地域の環境美化の推進

- 環境美化運動 5月25日、8月3日、11月2日
- 緑と花の愛護普及事業 6月、11月
- 環境講座 1月25日

事業等の日程の詳細については、事務局(274-5222)までお問合せください。

事業予算

収入の部			支出の部			活動費		
項目	金額(円)	比率(%)	項目	金額(円)	比率(%)	項目	金額(円)	比率(%)
市から補助金	2,832,000	69%	活動費	1,675,265	41%	体育部会	565,600	33%
会費	928,200	23%	事業費	1,680,000	41%	安全福祉部会	250,181	15%
協賛金	75,000	2%	事務費	495,000	12%	文化部会	233,122	14%
繰越金	2,238	0%	会議費	205,000	5%	青少年部会	363,581	22%
雑収入	248,117	6%	予備費	30,290	1%	環境部会	262,781	16%
合計	4,085,555	100%	合計	4,085,555	100%	合計	1,675,265	100%

地域づくりの会のしくみ

平成31年度 田彦中学区地域づくりの会組織と体制



地域づくりの会のご紹介

- 目的** 自らの意思で住民が相互に連携しあい、地域の生活環境、人間関係の一層の充実を図り、地域のコミュニティ活動の促進・発展するため、中学校区単位に組織しています。
- 会員** 中学区の皆様で構成しています。自治会に加入することで会員になれます。
- 運営費** 会員から年300円の運営費と市からの助成金等で運営しています。事業報告等は、毎年度総会を開催し報告しています。
- 体制** 会長、副会長、監事は、総会で選出し、任期は2年です。実践部運営委員は、各自治会から推薦された方々等で各事業を実施しています。

街ぐるみで防犯活動を

■防犯連絡員協議会

田彦中学区分会

「ふれあいと非行防止は街ぐるみ」山新通り大島公園フェンスに黄色の長さ約10メートルの横看板が設置されたのをお気づきでしょうか。

これは、防犯連絡員協議会田彦中学区分会が昨年度啓蒙活動の一環として行いました。

防犯連絡員の活動は、地域ボランティアとして「安全で安心できるまちづくり」のため種々の活動を行っています。また、地域住民及び自治会組織等の自主的な地域安全の拠点として【防犯連絡所】があります。これは昭和四十一年に制定されて以来、防犯連絡員の家や会社、事務所などが指定されています。

■田彦中学区

青色防犯パトロール隊

各自治会では、「田彦中学区防犯パトロール隊」を結成し、安全なまちづくり推進のため、青色回転灯をつけた車で田彦中学区地内の見回り巡回活動を行っています。

最近、児童・生徒が死傷事故にあう報道が後を絶たない現状

です。そのような痛ましい事故が出ないよう研鑽を積みながら、皆様で住みよい街「田彦中学区」であり続けられる日々の努力を重ねたいものです。

六月十五日は、防犯連絡員総会と防犯パトロール隊活動報告会が開催され、警察署の講話や地域コミュニティ事例等の講演会研修を行い、参加者は82名でした。



今年度の広報委員です

- ◎ 大谷 忠彦 西大島自治会
 - 小野 勲 文化部会
 - 宮崎 祐輔 大島公園西自治会
 - 米川 孝子 田彦西自治会
 - 小森 和男 堂端自治会
 - 菅原 公子 田彦東自治会
 - 菊池美千代 体育部会
 - 円谷 昇子 青少年部会
 - 平田 源蔵 環境部会
 - 片岡 シナ 安全福祉部会
- ◎委員長 ○副委員長



体育部会って 運動会と餅つき?

体育部会

体育部会の活動指針は、「地域の皆様の健康づくりの推進」、具体的には「体育スポーツ、レクリエーション活動を推進し、体力づくりと心身の健康増進を図る」とです。

メンバーの構成は、自治会推薦のスポーツ指導員10名、地域スポーツ推進委員5名、部会推薦7名の22名です。部会員は仕事を持ち、休日を利用してのボランティア活動です。体育部会で行う4つの事業内容をご紹介します。

ファミリーバドミントン大会

一般のバドミントンと違い、短いラケットと丸いスポンジの付いたシャトルを使い、3人対3人でゲームをします。スマッシュ禁止や二度打ちOK等独特のルールがあり、小学生から年配の方まで楽しめる競技です。

本年5月26日、田彦小学校体育館で開催し、12チーム43名が参加しました。小学生の入った家族チーム、兄弟チーム、大人チーム、それぞれ気持ちの良い汗を流す事が出来ました。昨年同様、勝負に

こだわらないよう順位を付けませんが、ゲームが始まると白熱したプレイを見る事が出来ました。兄弟チームに聞いたら、いつも兄弟げんかをしているが、今日は力を合わせて頑張りました、とのことでした。

シニアレクリエーション大会

60歳以上の方が対象で、自治会対抗で3種目(輪投げ・バックコーラーゲッター)を競います。本年は6月16日に開催し、200名の方が楽しくゲームすることが出来ました。参加された方からは「一生懸命練習したので輪投げが一番になった」「毎年楽しみにしている」と喜びの声でした。そして80歳代の方もたくさん参加していました。



ヘルスバレーボール大会

ラグビーボールを大きくしたフワフワのボールを使い、5回まで返します。一般のバレーボールに比べてスピードが遅いことや

ボールを受けても痛くない為、小学高学年生から年配の方まで楽しめます。田彦中学区では、自治会対抗でゲームを行っています。

ノルディックウォーキング

通常のウォーキングと違い、エネルギー消費量が20%多く、さら



に上半身も使うため肩、首のコリ解消に有効です。運動効果が高く誰でも無理なく出来る運動なので「ウォーク以上、ランニング未満」を求めている方に最適とされています。

今年度は、12月8日に田彦コミセンを起点に実施します。ポール操作などの簡単な講習後コースに出、1時間半程ウォーキングを楽しみます。

秋季運動会

今年度は10月20日に行われます。玉入れ、綱引き、大縄跳び、総合リレー、子供会対抗リレーなどの競技のほか、未就学児、シニア参

加ゲームまで老若男女がそれぞれ楽しめるプログラムがめじる押しです。田彦小金管バンド、田彦中吹奏楽は見事です。日頃見かける地域の方が一同に集まり、一体感を感じる楽しい日になります。カレンダーにマークして是非ご参加ください。

地域の交通安全と福祉の推進

安全福祉部会

当部会の部会員は、自治会推薦者・交通安全母の会・民生委員・消防団・保健推進員・高齢者クラブ等幅広く経験豊富な方々が構成された総勢28名です。

活動の目的には、福祉ボランティア活動をとおして、住民相互の福祉向上を図り、交通事故の危険箇所等による災害をなくし、安全で快適なまちづくりの促進を行っています。

具体的活動については、交通安全では、毎年2月に田彦地域の交通安全日を定めています。



す。これに合わせ、高齢者向けや新一年生向けに交通安全の講習会を開催しています。講習会終了後は、ピカピカの一年生の顔になっていました。ガンバレ! また、通学路の危険箇所の点検を行い、改善要望等を行政に提言しています。

防災訓練では、消火器の使い方や煙中脱出訓練、救急救命対処法等を通じ、冷静な対応の大切さを参加者の方々が確認されました。災害はいつ起こるか分からないので、訓練大事ですね。備えはありますか。

福祉では、先進的な医療の現状や在宅介護の仕組み等を医師等の専門家による講師を招き、講習会を開催しています。昨年は、癌の放射線治療をテーマに行いましたが、心身共に健康なときに癌治療の選択を知ることができたこと、好評をいただきました。

地域の方々の出会いとふれあいの場として、高齢者の方を対象に歩く会を開催しています。歩いた後の豚汁が好評をいただき、大勢の方々の笑顔で溢れます。

部会員の経験と教養の充実を図るため、施設の見学・研修も行っていきます。

地域活動に興味をお持ちの方や開催する事業に関心のある方は、一緒に参加しませんか。お待ちしております。



自治会の「活動と役割」

堂端自治会 須藤 光夫

快適な地域とするために！

- ①安全で安心できる地域づくり
 - ・防犯パトロールで安全と安心
 - ・防犯灯の設置で夜も明るい街
 - ・登校下校児童の見守り活動
- ②助け合い・支え合う暖かい地域
 - ・敬老会や運動会・祭りの開催
 - ・高齢者の見守りや声掛け運動
- ③きれいな生活環境づくり
 - ・資源回収・生活ゴミの回収
 - ・花植えやゴミ拾いで環境美化
- ④防災・災害時の支援活動
 - ・避難訓練・防災資機材の整備
- ⑤日常生活で発生する諸問題を組
長↓班長↓会長↓関係部署と調
整し解決を図る団体です。



西大島自治会活動の紹介

西大島自治会 山田 謙司

西大島自治会では、年間を通して地域の住民と共に、安全で安心な住みよいまちづくりを推進しており、その中で3つの特筆すべき活動について紹介します。

- ①公園の清掃作業：地域内に2つの公園があり、班長・組長を中心に年2回の除草作業を実施し、環境美化に努めています。
- ②十一面観音夏祭り：東大島自治会と隔年で担当し、模擬店(焼そば等)、催し物等を計画し、住民同士の交流を促進しています。
- ③救急救命講習会：毎年、班長・組長を対象に3時間の救急処置(心肺蘇生とAED使用)の講習を受け、突然の事態に役立つ様になっています。終了後には、消防署より「修了証」が配布されます。



地域活動を通して

田彦西自治会 藤咲 武夫

住民の親睦や防犯活動などの場として存続してきた地域の行事ですが、最近ではプライベートを縛られたくないという人が増えて参加者が低下傾向にあります。



一方では、東日本大震災以後「いざ」といふときの地域活動として見直す動きが多く見られます。

東日本大震災時、皆さんはどんな体験をしましたでしょうか？

当会においても自主防災組織の見直しや防災訓練、また5年前より組長懇談会等を実施しています。「いざ」といふときに、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯の下、地震・水害等による自然災害を最小限に軽減するための取組みを目指してまいります。

総合優勝十九回

田彦東自治会 中村 厚士

平成六年に第一回田彦中学校区秋季大運動会が開催され、以後続いてきた大会の中で田彦東は十九回の総合優勝を果たしている。

小さな自治会が守り続けているこの凄すぎる偉業・記録はどのようにして達成されてきたのでしょうか。自治会全員の心を一つにして大会に望んできた先輩方の姿勢や精神が伝統となり、今も受け継がれていることにあると思う。

田彦東の皆さん、今年も秋季運動会は、行われます。小中学生達、若いお母さんお父さん、子供会育成会の皆さん、伝統を受け継いで活躍中の皆さん、今年も自治会一体となって頂点を目指そう。

そして歴史をつないでいこう。



自治会活動に参加し思う事

大島公園西自治会 笠井 忠雄



ひたちなか市に住み40数年、生まれ育った北海道生活の2倍以上となり、第

2の故郷になりました。越してきた当初は、仕事一辺倒で地域の行事にも参加しておりません。その様な中、自治会役員を！お話を戴き引き受け、早6年になります。この間、多くの方々とお知り合いになり、色々教えて頂く事も多く、もちろん大変な事もありますが、役員を引き受けて良かったと、今は思っております。

しかし気になる事もあります。自治会の会員さんは、高齢者も多く組長をやれないので会員を抜きたいと言っている方が多い事です。よい解決策は、すぐには見つかりませんが、地域にとつて自治会は必要であり、今後の課題にして、引き続き自治会活動に参加して行こうと思っております。

編集後記

令和元年、新しい時代を迎え最初の広報誌をお届けします。「コミュニティ田彦」が地域と家庭を結び広報誌として、親しみ易く、情報内容が役立つ紙面作りを目指します。皆様からの沢山のお声をお待ちしております。

